

当院の感染対策について

Infection Control

鶴川サナトリウム病院では、皆さまに安心して受診・入院していただくために、さまざまな感染対策を実施しています

入館前の感染対策

来院者全員にマスク着用・手指消毒の義務化

当院へ来院される際は、来院者全員に必ずマスクの着用と手指消毒をお願いしています。裏口から入館する搬入業者なども同様です。

送迎バスの消毒

安心して乗車していただけるよう、出発前に、ドア、手すり、座席、シートベルトなど丁寧に消毒しています。



院内の感染対策

非接触型体温測定

受付前に、非接触型の体温測定器を設置しています。来院者は体温を測定し、発熱があった場合は受付にお申し出いただきます。

外来待合フロアの椅子配置

待合フロアに設置してある椅子は、可能な限り数を制限し、間隔を置いてお座りいただくよう配置しています。

院内の換気

全館熱交換型換気システムにて24時間換気を行なっているほか、各フロアの解放可能な場所では、安全面を考慮しつつ、できる限り窓や扉を開放し、院内換気を行なっています。

清掃の徹底

人が多く触れる場所（椅子、手すり、ドアノブなど）は一日複数回清掃・消毒を実施しています。

患者さま毎の設備・検査器具の消毒

診察や検査時に、患者さまが使用したベッドや枕、椅子、検査器具などは、使用の都度、消毒をしています。

イートインスペース

緊急事態宣言発令に伴い、現在は閉鎖しています。
(緊急事態宣言解除後、開放予定)

雑誌・新聞の撤去

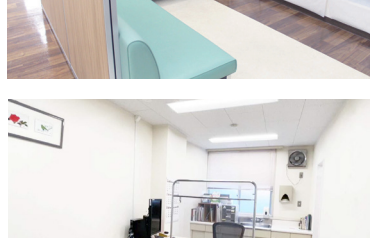
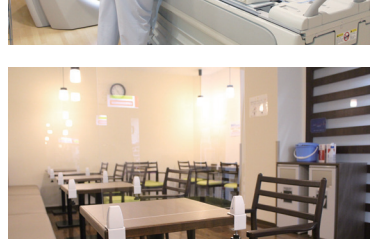
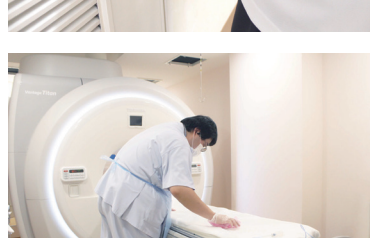
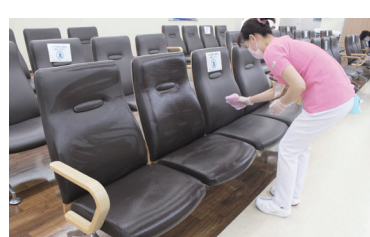
不特定多数の方が触れる雑誌や新聞などの読み物は消毒作業ができないため、撤去いたしました。

発熱患者用スペース

通常の患者さまと交差することがないよう、別のスペースでお待ちしております。

代理受診システム

医師が判断した場合のみ対応しております。ご相談ください。



入院時の感染対策

健康観察期間の設定

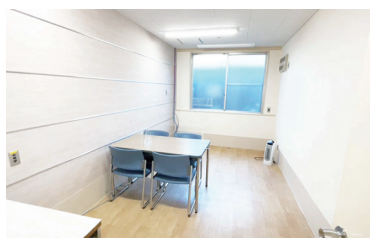
感染リスクを軽減するため、病棟に入る前に2種類の新型コロナウイルス検査（抗原検査・TMA法）を実施しています。TMA法の結果が出る入院翌日までを健康観察期間とし、その間は病棟の個室にご案内しています。陰性確認が取れしだい、予定の病室へ入院していただきます。

入院患者待機室

他の来院者との接触を避けるため、ロビーを通らずに入室できる専用の待機室をご用意しています。

ゾーニング

患者さまの症状によっては、他の来院者、スタッフとの不特定多数の接触を避けるため、通行の制限をしています。



病棟内の感染対策

清掃の徹底

人が多く触れる場所（椅子、手すり、ドアノブなど）は定期的に清掃・消毒を行ない、リハビリで使用した器具は患者さま使用の都度、消毒を実施しています。

病棟内の換気

全館熱交換型換気システムにて24時間換気を行なっているほか、各フロアの解放可能な場所では、安全面を考慮しつつ、できる限り窓や扉を開放し、院内換気を行なっています。

消毒後の器具管理

消毒した器具は、個別に管理ボックスへ保管し、消毒前のものと接触がないよう管理しています。



職員の感染対策

全職員にマスク着用・手指消毒の徹底

勤務する全ての職員はマスクの着用と、各出入口に設置してある消毒用アルコールでの手指消毒を徹底しています。

アルコール常時携帯

勤務する全ての職員は、消毒用アルコールを常に携帯し、手指消毒を徹底しています。

防護具着用

患者さまを直接担当するスタッフは、必要に応じてエプロン・ガウン・ゴーグル・手袋を着用しています。

体調管理記録表

感染対策委員会が体調不良基準を定め、全職員が毎朝チェックを行ない、管理者は職員の体調を把握しています。

職員食堂の対策

対面での食事、マスクを外しての会話を禁止し、黙食を徹底しています。各卓上にはアクリル板を設置し、感染防止に努めています。

